

旭 農

PTA ニュース

編集
発行

北海道旭川農業高等学校PTA事務局

2025年3月1日
(令和6年度)
No.149

卒業を祝して

PTA会長

水口 仁志



卒業生の皆様、ご卒業おめでとうございます。保護者・家族の皆様、お子様のご卒業を特別な思いで迎えられる事と思います。心からお祝い申し上げます。

卒業生の皆様は、自立する一・二歩前の学ぶ場を旭農高に選び、旭農高として経験・体験したことで、一般教科・農業クラブ・実習・部活等、学ぶ力・知恵・そして色々な場面で色々な事に気付く事が出来た事と思います。その力を今後十分に発揮されますよう、心からご期待申し上げます。また、皆様は今後それぞれの道へと進みます。一定の社会ルールやコンプライアンスを守り、健康で真面目にそれぞれの道を進まれますよう心から願っております。

これまで、ご指導・お支えを頂きました近江校長先生をはじめ携わって頂きました教職員の皆様、そして色々な場面でご支援を頂きました永

永農・旭農
次の一〇〇年へ！

校長 近江 勉



旭農卒業生 諸君、保護者の皆様そして三学年担任団、ご卒業おめでとうございます。また、

農・旭農同窓生の皆様に心から感謝を申し上げます。また、保護者の皆様にはPTA活動に深いご理解とご協力を頂きました事、心から感謝申し上げます。

結びに、旭農高校は農業後継者育成や農業全般に従事する学生育成の学校だと思っています。農業に興味を持ち、一人でも多くの学生が将来農業や農業に携わる仕事を職業として選択して頂きますよう願っております。また社会人として行動・発言・色々な場面での選択等その全ての責任が自身に問われます。悔いの無い人生を歩んで頂きますよう心から願っております。

ご卒業 おめでとうございます。

PTA会長 水口仁志 様をはじめ会員の皆様には、本校教育活動にご理解とご協力をいただき、今年度の活動が無事に終了出来ましたことに心より感謝申し上げます。

近年、「ウェルビーイング」という言葉（体だけでなく、精神の状態や社会の状態もまた良好な状態であることを意味します）がよく使われますが、これまで旭農保護者の皆様をはじめ、本校学校教育に携わられた先輩諸氏は「子どもたちのウェルビーイング」を心から願ひ本校の教育活動にご理解ご協力いただいたことと思います。先人の方々が積み上げてきた本校の農業を軸とした教育基盤と教育にかけられる強い情熱を確実に引き継ぎ、後進に伝えていかなければならないと切に感じているところです。

さて、農業教育の魅力はその多様性にあります。農業は、総合科学と呼ばれる、様々な知識や情報を統合して成り立っています。プロジェクト学習やSTEM教育を通じて、AIやIoTといった先端技術を活用することで、農業高校の新たな価値創造が期待されます。つまり、農業高校は地域に根ざした教育拠点として、次世代の農業人材を育成する重要な役割を担っております。現在全国には二九六校の農業高校があり、総合学科を含めると三六四校が農業

教育を提供しています。毎年二万人以上の生徒が農業高校を卒業し、そのうち農林業に就職する割合は約三%となっております。本校では、これから農業の魅力を実感し、将来のキャリアとして選択出来るよう、農業教育の充実にも努めてまいります。皆さんがこれまで本校で学んできた全てのことは、今後社会で必要とされる、自ら学び、自ら考え、自ら行動する事のできる「生きる力」や社会人として求められる、思考力、判断力、表現力、コミュニケーション能力を確実に身につける事に繋がっているのです。

今後も日々の学習を大切にして、様々な活動に積極的に取組、自らを成長させて下さい。

皆さんの前途に幸多かれと祈念すると共に、PTA会員の皆様には、引き続き本校の教育活動にご理解とご協力をいただきますようお願いいたします。お祝いのことばといたします。

卒業に寄せて

農業科学科

川田 匡司郎



三年間を振り返ると、さまざまな思いがよみがえってきます。まだ、可愛げがあった一年生。最初はマस्क生活から始まりましたね。みんなのアイデンティティである、美しい顔を拝むことが

ができない状態でした。それでもクラスメイトは明るい生徒が多く、そんなことは気になりませんでした。もう可愛げのない二年生。学校生活最大のイベント、修学旅行がありました。沖縄はいいね。あたたかくてさ。北海道とは違う自然に、心から癒されました。

一周回って可愛い三年生。進路の思い出しがあります。先生方からの手厚いサポートにより多くの生徒が進路を実現することができました。旭川農業高校に関わるすべての人間に幸あれ。

食品科学科

小島 美佳

高校生活を振り返りと
感謝の言葉を書きます！



一年生の頃はコロナの影響もあり行事自体は出来たけれど制限付きだった事がほとんどで

た。二年生ではいつもとは違う沖縄での修学旅行に対し新鮮な気持ちになりました。三年生では本格的に進路活動が進んでいきみんな自分の進路を実現させるために頑張っていました。他にもここには書ききれないほどたくさん思いがあります！！

意見がぶつかり合い喧嘩することもあるけどそれでも普段から色々なことを気にかけてくれた家族、口数は少なくボーカルフエイスだけど裏ではクラスののために必死に頑張ってくれていた担任の先生、たくさん迷惑と心配をかけたけれど皆さんの迷惑と心配をかけたけれど話でも見守ってくれていた先生方、話

しかけたら笑顔で話を聞いてくれたり話しかけたりしてくれた友達、先輩後輩達みんな、この三年間充実した学校生活を送る事が出来たのは支えてくれた皆さんの方のおかげだと思っています。今後もたくさんの方への感謝の気持ちを忘れず日々成長できるように努力していきたいと思っています。

森林科学科

矢内 幸太



三年間を振り返って

僕達の三年間は長いようで短かったです。一年生の頃は、緊張と楽しさという気持ちが重なっていました。友達ができるか不安でいっぱいだったけど、自分から積極的に話しかけ、少しずつクラスの人たちとなじむことができました。しかしコロナウィルスの影響もあり自分たちの行動が制限されることもありどこか不自由さを感じていました。

二年生の一番の思い出は、見学旅行です。例年は関東、関西に行っていました。僕達は沖縄に行きました。初めて行く人が多く計画からみんな盛り上がりだしたのを覚えています。友達と過ごす三泊四日の旅は一生忘れられない思い出になりました。

見学旅行も終わり、進路活動が本格的に始まるとともに忙しい日々が続きました。時にはみんなで助け合いながら頑張りました。

最後に三年間話を聞いてくれたり、時には叱ってくれた先生方、時には叱ってくれた先生方、

保護者の方その支えがなければ今の僕たちはいないと思います。社会人になってもまだまだ大変なことはあると思いますが三下は頑張ります。大変お世話になりました。

生活科学科

金谷 泉未



遡ること三年前。私達が入学した当初は新型コロナウイルスの影響を受け行事の短縮化やマ

スク着用義務化などが当たり前の日常で、隣の席の子の顔がわからない、そんな日々でした。しかし、二年次以降からはコロナの影響を受けることなく充実した高校生活を送ることができました。

二年次では体育祭総合優勝。三年次では全項目最優秀賞を獲得し学校祭総合優勝と、私達のクラスは何事にも超全力で取り組む、素敵なクラスで満ち溢れています。そんなクラスを指導する先生には沢山の苦労と迷惑をかけてしまったと思います。鈴木先生、今泉先生三年間ありがとうございました。そして、私の高校生活を彩ってくれた三下の皆。沢山笑って、時には泣いて。そんな色濃いつ青春をありがとう。春からは離れ離れになつてしまふけれど、次また皆が集まった時は高校生の時のようなとびきりの笑顔で笑い合おうね。三年間ありがとう。さようなら。また会える日まで。



一年を振り返って

一学年主任

持田 和寿



この一年間は「子どもから大人に向かう第一歩」として、我慢の年だったのではないでし

うか。徹底してルールを守ること、集団生活のあり方、課外活動への参加、挨拶や礼儀、自主性や自律など、何気ないことでも「当たり前のことを当たり前と思い行動すること」を様々な場面で求められてきました。もちろん、すべてをクリアしたわけではありませんが、日常こそ大切であることを再認識する一年間だったと思います。こうした取組の継続によって社会性を身につけてほしいと、私たち担任団は考えています。

アメリカの哲学者ウィリアム・ジェームズの言葉として有名（諸説あり）ですが、「意識が変われば態度が変わる。態度が変われば行動が変わる。行動が変われば習慣が変わる。習慣が変われば人格が変わる。人格が変われば運命が変わる。運命が変われば人生が変わる。」という言葉があります（異なる部分あり）。自分磨きを怠らず、自分の置かれた現状を周囲の人や周囲の環境のせいにして、自身で切り開いていくことの大切さを、この言葉から私は強く感じます。ぜひ、みなさんの人生が変わるように自分自身を見つめ、そして来年度からいろいろな場面で活躍できるよう頑張ってくださいと思います。

さいごに、保護者の皆様には、日頃から本校はもとより、一学年の教育活動や方針についてご理解とご協力をいただき、この場をお借りしまして感謝の意を表します。来年度からは「中堅学年」として恥ずかしくないよう、また十月にある大きなイベント「見学旅行」に向けて邁進していきますので、引き続きよろしくお願いいたします。

二学年主任

梅田 英一



令和六年度も終わりが近づいてきました。この一年間、保護者の皆さまにおかれましては学

年の諸活動に対してご理解とご協力を頂き、感謝申し上げます。

自主・自立を目標に始まった学校祭と球技大会では、戦略を練り挑む姿がみられました。また、三日間のインターンシップでは「社会」を目で見、耳で聞き、肌で感じることで、大変貴重な「勉強」ができたと思います。そして、何と言っても一番印象に残っているのは、高校生活最大のイベントである見学旅行です。四泊五日の日程で関西、東京方面を訪れた日。なんばグランド花月では普段テレビで見る芸人さんや新喜劇の面白さを堪能。薬師寺では吉本芸人に匹敵するほどの話上手なお坊さんに感心し、東大寺の大仏の大きさに圧倒され、想像以上に楽しかったようです。関西の自主研修は自転車です。京都市内を見学する班や、着物を

レンタルして京都の街を堪能する班、大阪に遠征する班など、それぞれの目的を果たすことが出来ました。しおりの感想の中に「見学旅行に行かせてくれた親に感謝します」と書いていた生徒がおり、うれしく感じました。

四月からはよいよ三年生。「勝負の年」まさに中心には「進路決定」があります。冬休みからは三者面談を実施しています。学校生活の様子をお伝えしたり、進路に向けて意見を交換を行うなど貴重な面談の場となっています。保護者の皆様におかれましては、お忙しい中お時間を作っていただき、また、ご足労いただいたことに感謝申し上げます。来年度は農業クラブや部活動、行事など、全ての活動の頭に「最後の」が付きます。一つ一つの活動も大切にしながら過ごし、志望の進路も実現させられるよう努力してほしいと思います。

卒業担任より

卒業担任より

三A担任 大沼 憲彦



前任校時代の習慣が残りの、今回も令和四年四月十一日（月）の昼休みから教室で昼食を食べる生活が始まり、毎日、朝と帰りのホームルームだけでは感じ取れない日々の変化や成長を見続けた時間もあつという間に過ぎ、令和七年一

月二十八日(火)、最後の日を迎えました。当日はほとんどの生徒がいつもと変わらぬ昼休みを過ごし、担任同様、高校生活最後の昼食を意識しながら食事をしていた生徒は少なかったように思います。

元気が過ぐせば人生百年と言われる今の時代、高校生活三年間は人生のほんの一部に過ぎないのかもしれないが、仲間と過ごした時間や様々な経験は何時の時代とも変わらず、これからの人生の糧になる人が多いのではないかと思います。

四月からそれぞれの新生活がスタートしますが、旭農で学んだ、人の目を見て話をする、ありがとうとこめんなさいを伝える、他人を大切に理解する、友達のことを大事にするように自分のことも大事にする、併せて時々自分を見つめ直すことも忘れず、これからの人生を大切に過ごしてもらえたら幸いです。

最後になりましたが、保護者の皆様には、ご理解ご協力をいただき感謝申し上げます。担任として至らぬ点多々ありご迷惑をおかけしましたが、温かく見守っていただき感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。

「問う」と「答へ」

三M担任 赤川 純平



卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございませう。初めて皆さんと会った日からもう三年近く

経つことに驚いています。さて、卒業生の皆さんとは数学の

授業で関わるが多かったのではないかと思います。数学の授業は三年間ずっとありましたが、皆さんの頑張っている姿が今でも思い出されています。二次関数のグラフに苦労していたこと、サイン・コサイン・タンジェントに混乱しかけていたこと、確率の計算に頭を悩ませていたこと。正直苦手だという人も多いと思います。しかし、「わかった!」という問題を解決したときのやりきった表情が素敵でした。

皆さんの中には、数学の授業を今後受けることはないという人もいます。今までやってきた数学の問題には答えがありますが、これから先皆さんが人生でぶつかる問題には答えが存在しない不安もあるでしょう。正解がない不安になる気持ち、私もよく分かります。でも、そんなときは自分で粘り強く考え、導き出した答えが模範解答でいいんです。自分に自信を持って、自分の正しい正解を追求し、良い人生を築いてください。

最後になりますが、保護者の皆様におかれましては、お子様のご卒業誠におめでとうございませう。保護者の皆様からは三年間さまざまな場面でご支援やご協力、ご助言をいただきました。担任としては至らない点が多くありましたが、保護者の皆様の支えなしでは、きっと今日という日を笑顔で迎えられませんでした。三年間本当にありがとうございました。

「くれぐれも身体に気をつけて!」

三F担任 伊藤 利浩



本日、卒業式という晴れの日を迎えた三Fの三十九名、卒業おめでとう!

様におかれましては、一年次担任坂口の異動に伴い、二年次からの担任でしたが、学校運営並びに学級経営にご理解とご協力をいただき心より感謝申し上げます。学級通信等でクラス、学校の様子を伝えられませんでした。生徒達はコロナウイルス感染予防のため、様々なことが制限される場面が多くありましたが、徐々に規制が緩み、この二年間は多くの行事がほぼ通常の流れで実施されていたように思います。特に沖繩での見学旅行は良い思い出になっていることと思います。

さて、今日の卒業という日を迎えることができたのは、決して自分一人の力で得たものではなく、保護者をはじめ、先生方、友人、地域の協力など、様々な人の支えがあつてこそ迎えることができた一日です。これからの人生においても、様々な人との関わりがたくさんあります。四月からはそれぞれ違う環境での出会いに感謝の気持ちを持って、勉学や仕事に、健康に留意して励んでください。

最後に、これからの人生、ここまでの学校生活と違った壁に直面するかもしれないが、くれぐれも身体に気をつけて、元気に豊かな人生を切り拓いてくれることを心から期待

『さよーなら またいつか!』

三I担任 鈴木 朝陽



卒業生の皆さん、卒業おめでとうございませう。入学式の時に三年間は長いな、そう思っていました。

ましたが振り返るとあつという間だったと感じています。初めての担任ということで、皆さん私に対して不満に思う部分など多々あったかと思いますが、いかんせん私も不器用なもので、たいあたりしかなかったと思います。そんな中でも、もう少し上手いことやれたのではないかと、そう思うことが多々あります。ただ皆さんがたいあたり耐えてくれたおかげで、今日この日を迎えることができています。深く感謝申し上げます。

三年間を改めて振り返ると、コロナに振り回された一年生、徐々に緩和され従来の学校生活に戻りつつあった二年生、集大成の三年生とそれぞれ印象深いものがあります。何が一番印象に残っているのか色々考えてみましたが、昼休みに漠然と皆さんを眺めていたこと、そういう何気ない日常が強く残っています。三年間、自分の親よりも話をし、一緒に時間を過ごしてきました。その積み重なった時間が私の一番の思い出です。皆さんにはこの先、この三年間が薄れるぐらいの素敵な時間を積み重ねてくれることを願っています。最後になりましたが、保護者の皆

しています。旭農での担任三回目、皆に出会えて良かった! ありがとう!



高体連・高文連などの記録

◆野球部

◎第77回秋季北海道高等学校野球大会旭川支部予選
1回戦
対 旭川龍谷 1―11 (6回コールド)

◆ソフトテニス部

◎第50回全日本高等学校選抜ソフトテニス大会旭川支部予選会
団体種目・男子団体 予選リーグ
対 旭川西 0対3
対 旭川明成 0対3
予選リーグ敗退

◆女子団体 予選リーグ

対 旭川実業 1対2
対 旭川商業 1対2
対 旭川明成 0対3
予選リーグ敗退

◎第61回北海道高等学校インドアソフトテニス選手権大会旭川地区予選会
個人種目・男子ダブルス
土谷 (2F) 他校ペア 1回戦敗退
藤原 (2M) 高橋 (2M) 2回戦敗退
松澤 (1F) 金子 (1F) 1回戦敗退
小林 (2A) 他校ペア 1回戦敗退
笠井 (1A) 澤山 (1F) 2回戦敗退
女子ダブルス
高村 (2M) 中越 (2M) 1回戦敗退
菅原 (1M) 渡辺 (1M) 1回戦敗退
重元 (2M) 伊藤 (1M) 1回戦敗退
強力 (1L) 他校ペア 1回戦敗退

◆バドミントン部

◎第29回会長杯バドミントン高校選手権大会兼コネックス杯
男子団体 1回戦
対 旭川南 0対3
男子1部ダブルス
石田 (2A)・江口 (2A) 2回戦敗退
佐藤 (1A)・小田 (2A) 棄権
女子1部ダブルス
荒川 (1L)・布施 (2M) 1回戦敗退
男子1部シングルス
江口 (2A) 1回戦敗退
小田 (2A) 1回戦敗退

佐藤 (1A) 1回戦敗退
女子1部シングルス
布施 (2M) 1回戦敗退
荒川 (1L) 2回戦敗退
男子2部ダブルス
福永 (1A)・藤澤 (2A) 1回戦敗退
島原 (1A)・川上 (1A) 3回戦敗退
伊藤 (2A)・葛西 (1A) 準優勝
男子2部シングルス
藤澤 (2A) 1回戦敗退
川上 (1A) 1回戦敗退
葛西 (1A) 3回戦敗退
石田 (2A) 1回戦敗退
島原 (1M) 3回戦敗退
福永 (1A) 1回戦敗退
伊藤 (2A) 優勝
男子3部シングルス
澤田 (1F) 3回戦敗退
伊藤 (1F) 1回戦敗退

◎令和6年度北海道高校新人大会旭川地区予選会
男子団体 1回戦
対 旭川北 0対3
男子1部ダブルス
伊藤 (2A)・葛西 (1A) 2回戦敗退
石田 (2A)・江口 (2A) 1回戦敗退
佐藤 (1A)・小田 (2A) 1回戦敗退
女子1部ダブルス
布施 (2M)・荒川 (1L) 1回戦敗退
男子1部シングルス
小田 (2A) 2回戦敗退
伊藤 (2A) 1回戦敗退
佐藤 (1A) 2回戦敗退
江口 (2A) 2回戦敗退
女子1部シングルス
布施 (2M) 1回戦敗退
荒川 (1L) 2回戦敗退
男子2部シングルス
福永 (1A) 1回戦敗退
石田 (2A) 1回戦敗退
藤澤 (2A) 3回戦敗退
島原 (1M) 1回戦敗退
葛西 (1A) 1回戦敗退
川上 (1A) 1回戦敗退
男子3部シングルス
澤田 (1F) 1回戦敗退

◆男子バスケットボール部

◎令和6年度北海道高等学校バスケットボール選手権大会旭川地区予選会
1回戦 対 旭川藤星 39対66
◎令和6年度旭川支部高等学校バスケットボール秋季大会
1回戦 対 旭川北 41対83
◎令和6年度第37回北海道高等学校バスケットボール新人大会
1回戦 対 旭川東 45対99
◎令和6年度旭川地区会長杯争奪バスケットボール大会
1回戦 対 NADIR 45対82

◆女子バスケットボール部

◎令和6年度第37回北海道高等学校バスケットボール新人大会 (東川・旭川高専と合同チームで出場)
1回戦 対 旭川南 23対107
◎令和6年度旭川地区会長杯争奪バスケットボール大会 (東川と合同チームで出場)
1回戦 対 旭川龍谷 25対106

◆バレーボール部

◎全日本バレーボール高等学校選手権大会旭川農業 0―2 旭川藤星
◎令和6年度第13回旭川支部バレーボール冬季大会
旭川農業 0―2 旭川永嶺
◎第20回北海道高等学校バレーボール新人大会旭川地区予選会
旭川農業 1―2 旭川商業

◆陸上部

◎第40回北海道高等学校新人陸上競技大会 (室蘭)
男子5000m 佐藤 真基 (1F) 出場
男子円盤投げ 相馬 蒼生 (2F) 出場
女子走高跳び 村上ひかり (2F) 出場

◆吹奏楽部

◎第17回定期演奏会 開催
◎第61回北海道管楽器個人コンテスト旭川地区予選
金賞 (チューバ独奏)
尾形 祐音 (2M)
◎第56回北海道アンサンブルコンテスト旭川地区予選
銀賞 (管打八重奏)
小原 雄真 (3A)
小野寺 姫花 (3M)
内海 龍成 (3F)
佐藤 美香 (3L)
中島 千月 (3L)
森本 凛々愛 (2M)
佐野 智優 (2F)
猪狩 圭映 (1F)

令和6年度農業クラブ大会の記録

分野1類【農業生産・農業経営】

○最優秀賞

食品科学科 (乳加工班)

発表題目…旭農の牛乳に付加価値を！2024チーズを使った新製品の開発

○優秀賞

農業科学科 (畜産班)

発表題目…食品廃棄物を活用した飼料費削減に関する研究

分野11類【国土保全・環境創造】

○最優秀賞

食品科学科 (地域資源活用班)

発表題目…持続可能なものづくり「食」から広げる環境創造

○優秀賞

農業科学科 (地域資源活用班)

発表題目…バガスで生まれる新たな資源循環型農業モデル
地球に優しい食料システムの実現を目指す活動 part2

分野川類【資源活用・地域振興】

○最優秀賞

農業科学科 (水稲班)

発表題目…北方型稲作の更なる可能性の追求
旭農高日本酒プロジェクト「北の灘」地域の未来を繋げ season1

○優秀賞

食品科学科 (微生物班)

発表題目…私たち発酵食品の魅力を伝え、地域と歩む発酵食品文化の創造
北海道実績発表大会は令和7年6月12日 (木) 13日 (金) に幌加内高等学校にて行われます。

